# 令和６年度　中央地区自主防災会訓練

令和７年３月２日（日）撫養町南浜の渦潮ふれあい館の広場で、「中央地区防災訓練」が実施されました。中央地区のみなさんが参加し、参集訓練、屋外テントの設営、消火器取り扱い訓練、ジャッキ取り扱い訓練、発電機の使い方、ロープワーク、パーテーション設置を行いました

１．参集訓練（家から渦潮ふれあい館までの時間を測る）の後、屋外テントを設営

２．開会式の後、消火器取り扱い訓練

３．発電機の使い方

4. ジャッキの取り扱い訓練

1995 年の阪神大震災では「直接死」の約8割が家屋倒壊や家具転倒による圧死・窒息死でした。
訓練ではいざとなった時に家屋や家具の下敷きとなった方を救助できるよう「ジャッキ」（対象物の下に置き、物を支えたり、持ち上げるために使われる装置で車のタイヤ取替などに使用されることが多い）の取り扱い訓練を行いました。皆さんの車のどこにジャッキがあるか日頃から把握しておくことが大切ですと説明を受けました。

5. ロープワーク

災害時の救助等や日常生活でも役立つロープワークを教えていただきました。

6. パーテーション組み立て

発電機やジャッキなどの使い方やテント、パーテーションなどの設営の仕方を体験することは、いざとなった時のための大きな経験であり、繰り返し行うことが大切です。また、地域の方が一緒に訓練に参加し、顔の見える関係づくりを図ることは、日常時だけでなく、災害時にも大きな強みになります。